

# 国際事業戦略 グローバル経営の推進

2021年11月18日

常務取締役 国際事業部長

山崎 剛司



# 目次

## 1 国際事業部実績（上期連結・通期予想）

## 2 2021年度重点戦略進捗

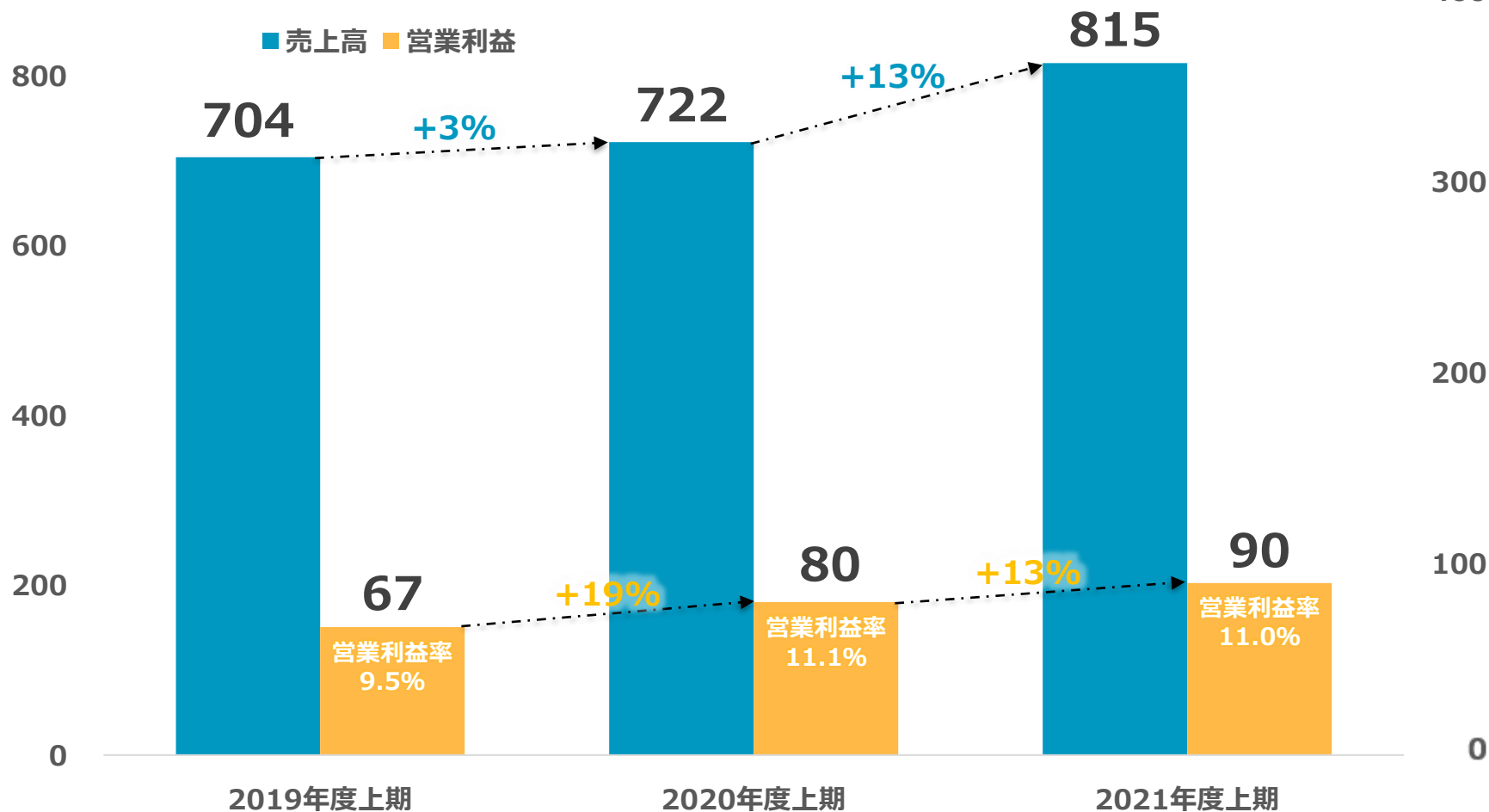
- 商品戦略
- 地域戦略
- 自社透析センター戦略

## 3 ロジスティクス戦略

# 国際事業部 売上実績（上期連結）

売上高  
(単位：億円)

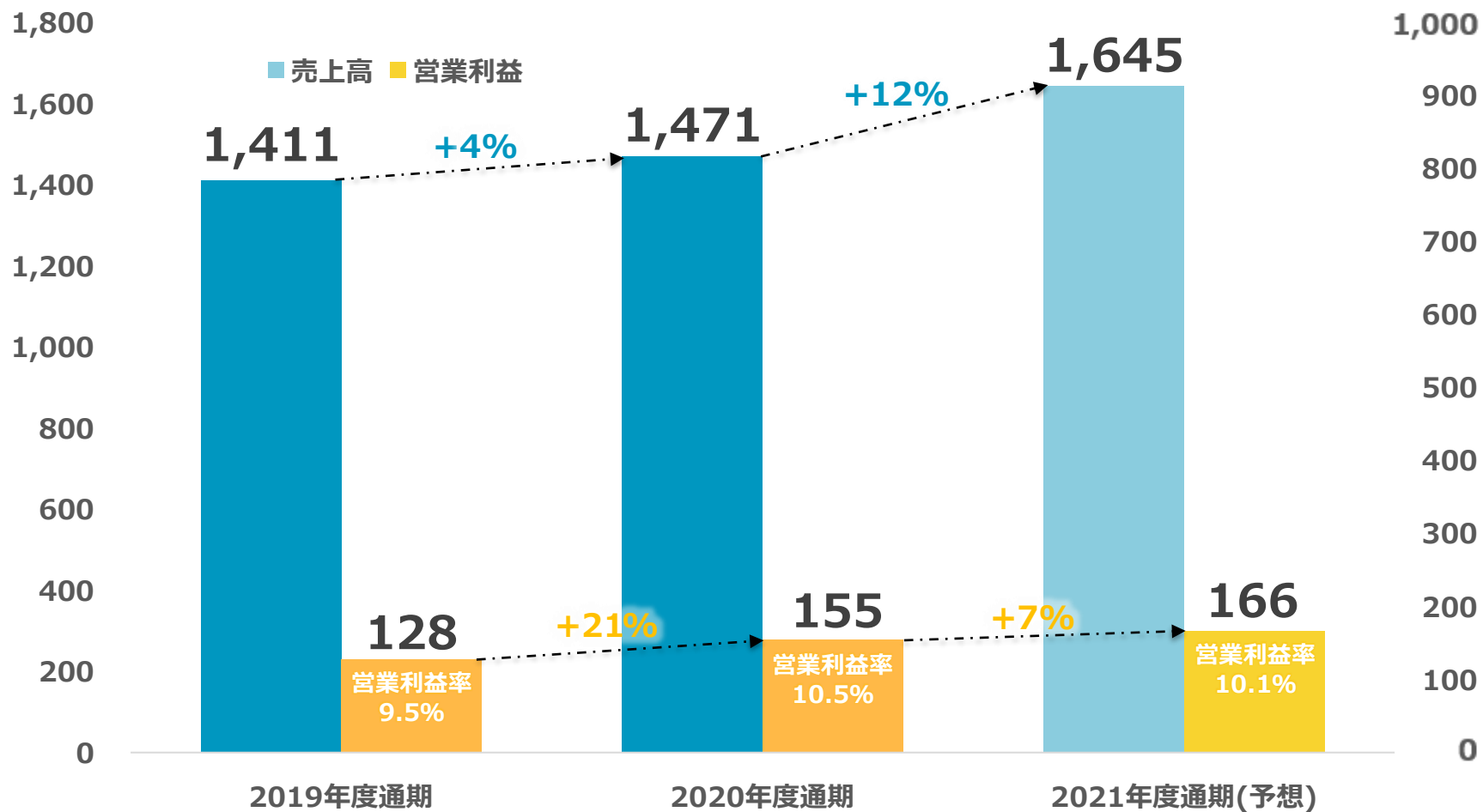
営業利益  
(単位：億円)



# 国際事業部 通期売上実績/予想 (連結)

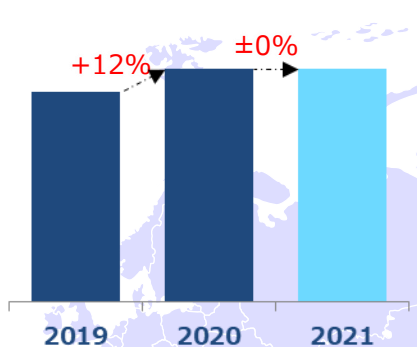
売上高  
(単位：億円)

営業利益  
(単位：億円)

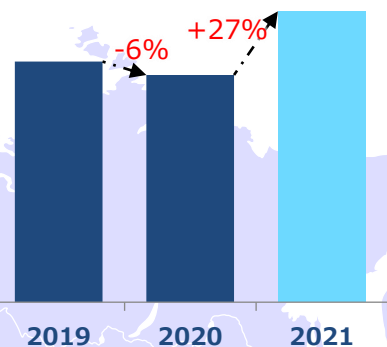


# 国際事業部 地域別 上期売上推移

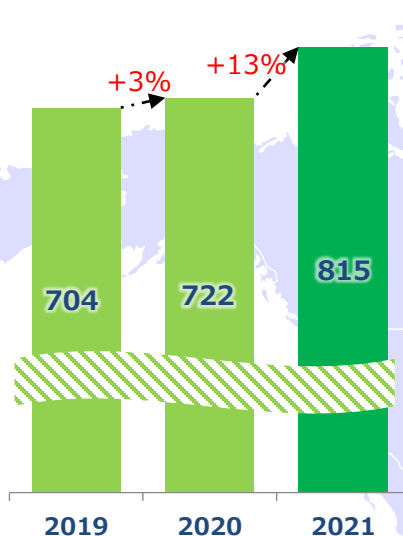
【欧州】



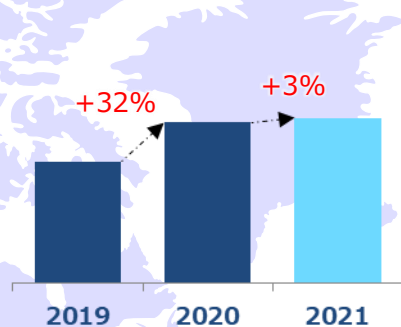
【中国】



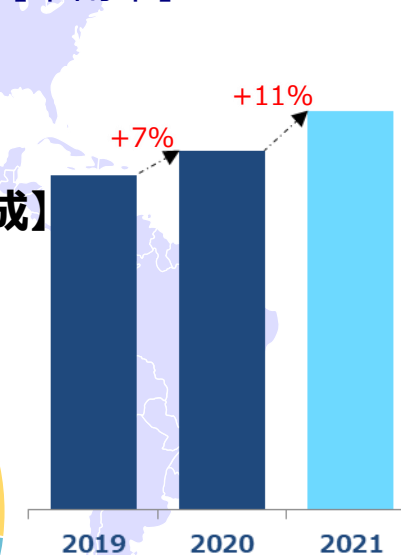
【連結合計】



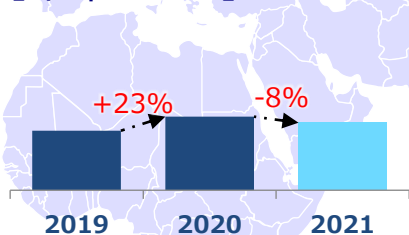
【北米】



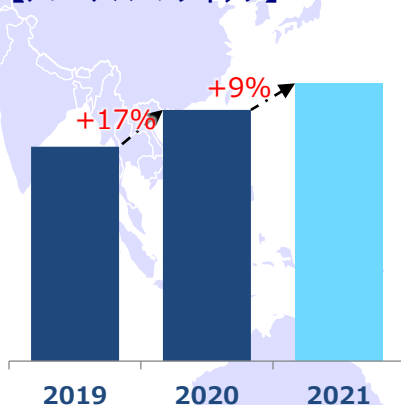
【中南米】



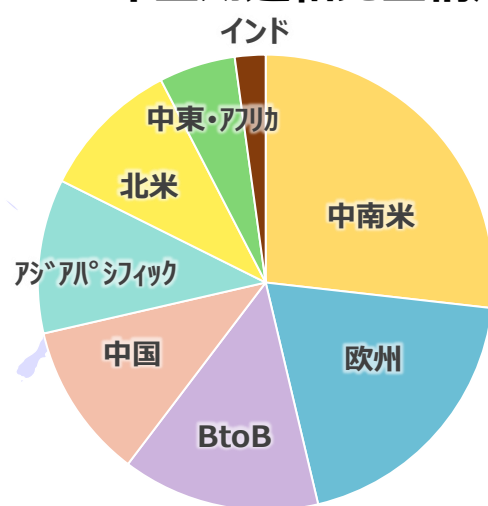
【中東・アフリカ】



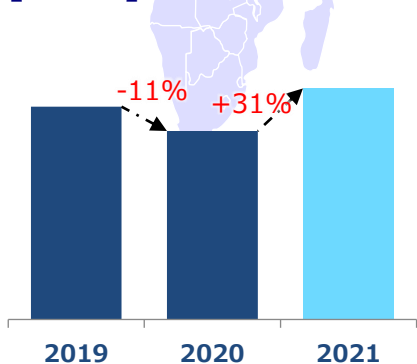
【アジアパシフィック】



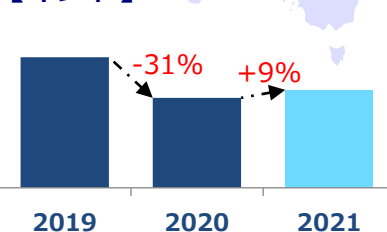
【2021年上期連結売上構成】



【BtoB】



【インド】

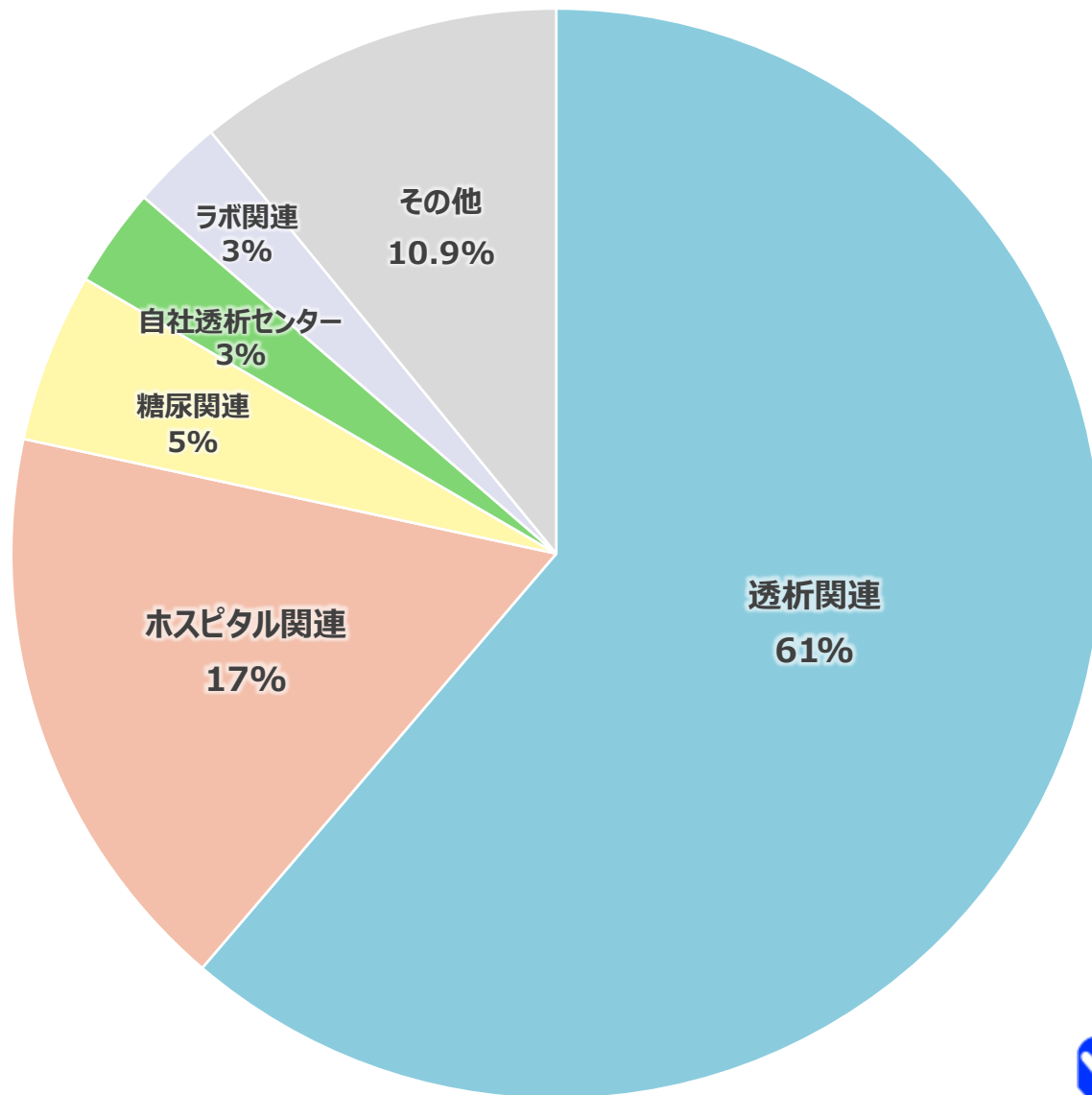


# 2021年度重点戦略進捗

## 商品戦略

1. 透析商品
2. ホスピタル商品
3. バスキュラー商品
4. イオンレス™ 次亜塩素酸水

# 商品構成（売上高 2021年度上期実績）



# 2021年度重点戦略進捗

## 商品戦略

1. 透析商品
2. ホスピタル商品
3. バスキュラー商品
4. イオンレス™ 次亜塩素酸水



# 1. 新規商品導入

ELISIO™ HX



高性能  
ダイライザ

血液透析(HD)治療での  
プレミアムモデルの  
販売開始

ポータブルエコー

確実な穿刺を可能にする  
画面一体型エコー装置

IP-ECHO



新型透析装置

臨床評価の結果良好  
年内販売開始

DIAMAX WOW



逆止弁付  
安全透析留置針

安全性、操作性を  
格段に向上させた  
透析留置針

SAFETOUCH™ DIALYSIS CATH PLUS  
Auto Priming Hemostatic Valve Type



# 2021年度重点戦略進捗


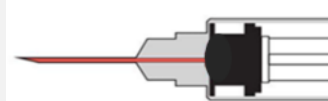

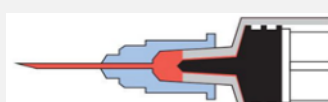

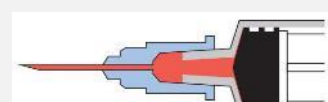
## 商品戦略

1. 透析商品
2. **ホスピタル商品**
3. バスキュラー商品
4. イオンレス™ 次亜塩素酸水

## 2. ホスピタル商品

2021年はコロナウイルスワクチン接種用シリンジの需要に加え、  
病院での治療件数の回復に伴う販売増でシリンジ販売数量  
**対前年増加見込み**

2021年 11月よりタイ工場でノンデッド・ローデッドシリンジの増産

シリンジタイプ <sup>°</sup> (25G×1インチ)		デッドボリューム	ワクチン
 ノンデッドシリンジ		0.002mL	<b>7回</b> 節約：2回分
 ローデッドシリンジ		0.062mL	<b>6回</b> 節約：1回分
 レギュラーシリンジ		0.082mL	5回

(備考：社内試験に基づく)

# 2021年度重点戦略進捗

## 商品戦略

1. 透析商品
2. ホスピタル商品
3. **バスキュラー商品**
4. イオンレス™ 次亜塩素酸水

# 3. バスキュラー商品海外販売

## 1. 米国販売体制の構築

- 販売開始10月～、国内学会参加
- 自社販売網の拡充を推進  
(21年末)営業8名  
(22年度)営業10～15名  
+ 臨床担当10～15名



NIRS-IVUS  
イメージングシステム



Gentuity OCT  
イメージングシステム



インターベンション  
アクセサリ



下大静脈フィルタ捕捉カテーテル

## 2. 欧州・中南米・アジア太平洋・中国に於ける展開

- 欧州：冠動脈イメージング専任販売部門設立
- 中国：新規登録準備始動
- 中南米・アジア太平洋・インド：販売開始・登録地域拡大



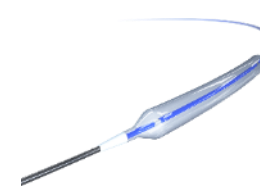
NIRS-IVUS  
イメージングカテーテル



末梢スコアリングバルーン  
NSE PTA



ガイドイングシース  
CrossRoads MG



PTAバルーン  
FineStream S Plus



# 2021年度重点戦略進捗

## 商品戦略

1. 透析商品
2. ホスピタル商品
3. バスキュラー商品
4. **イオンレス™ 次亜塩素酸水**

# 4. イオンレス™ 次亜塩素酸水

## 海外販売に向けて商品登録・導入を継続

各国政府、感染症のKOLに積極的に学術営業の実施

### ➤ Pure

イオンの少ない次亜塩素酸水

### ➤ Safety

安全性試験に基づく、室内噴霧の実現

### ➤ Effective

次亜塩素酸による除菌・ウイルス減少効果



2022年発売予定（海外）  
CLFine専用加湿器  
「シーエルミストL」



各国で製品説明会実施

デモンストレーション・展示会出展



# 2021年度重点戦略進捗

## 地域戦略

### アジア

- ▶ ベトナム新規販売会社設立



# 国際事業部 海外拠点

(2021年9月末現在)



ヨーロッパ  
Nipro Medical Europe N.V.



中国  
尼普洛貿易(上海)有限公司



中東  
Nipro Medical  
Middle East FZE

ニプロ本社

北中南米  
Nipro Medical Corporation



アジア  
Nipro Asia PTE LTD

インド  
Nipro Medical  
India



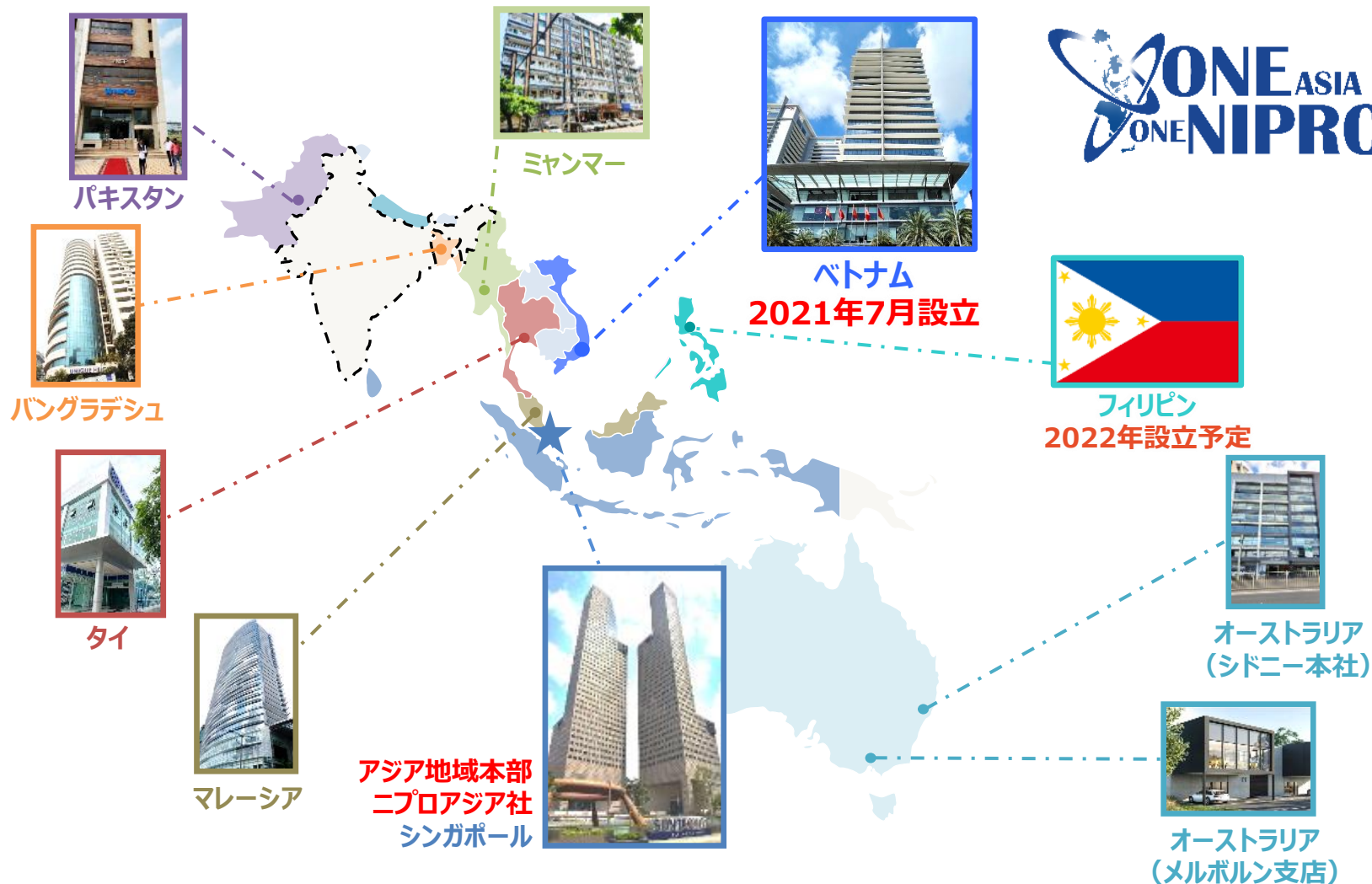
6地域統括会社

57ヶ国に158の拠点



# アジア地域本部の管轄国・地域

(2021年9月末現在)



**8**ヶ国に**19**の拠点、従業員**411**名



# 2021年7月 ベトナム新規販売会社設立

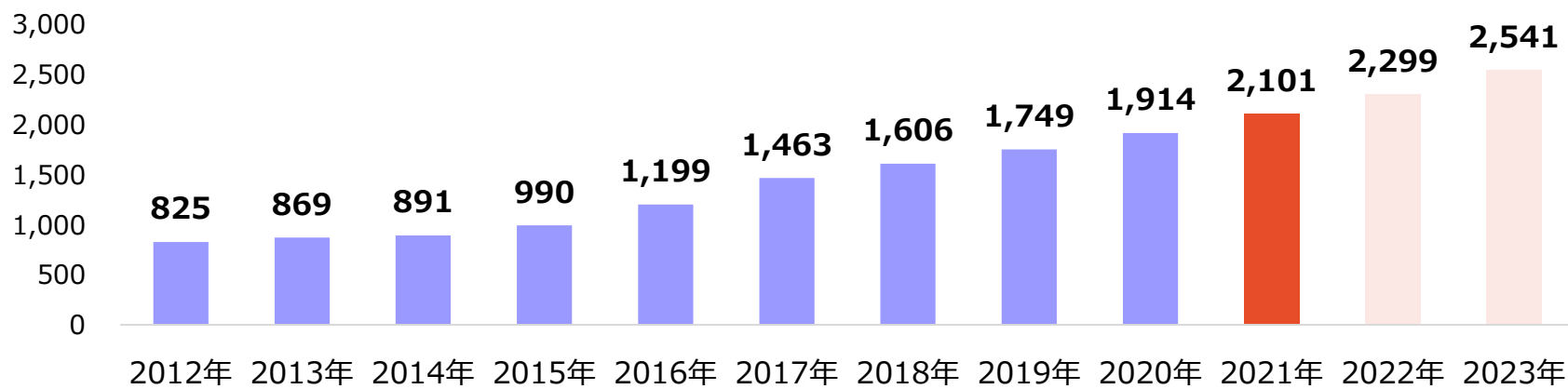


面積	: 32万9千平方キロメートル
人口	: 約9,762万人
首都	: ハノイ
一人当たりGDP	: US\$3,498 (2020年)
経済成長率	: 2.91% (2020年)
透析患者数	: 約4.5万人 (潜在患者数約9万人)

(出所:日本国外務省HP、透析患者数: 自社調査)

## 医療機器市場規模

(単位: 億円)



**経済成長に加え、医療保険の拡大により更なる市場規模の拡大**

(出所:Fitch Solutions「Worldwide Medical Devices Market Forecasts 2020」)

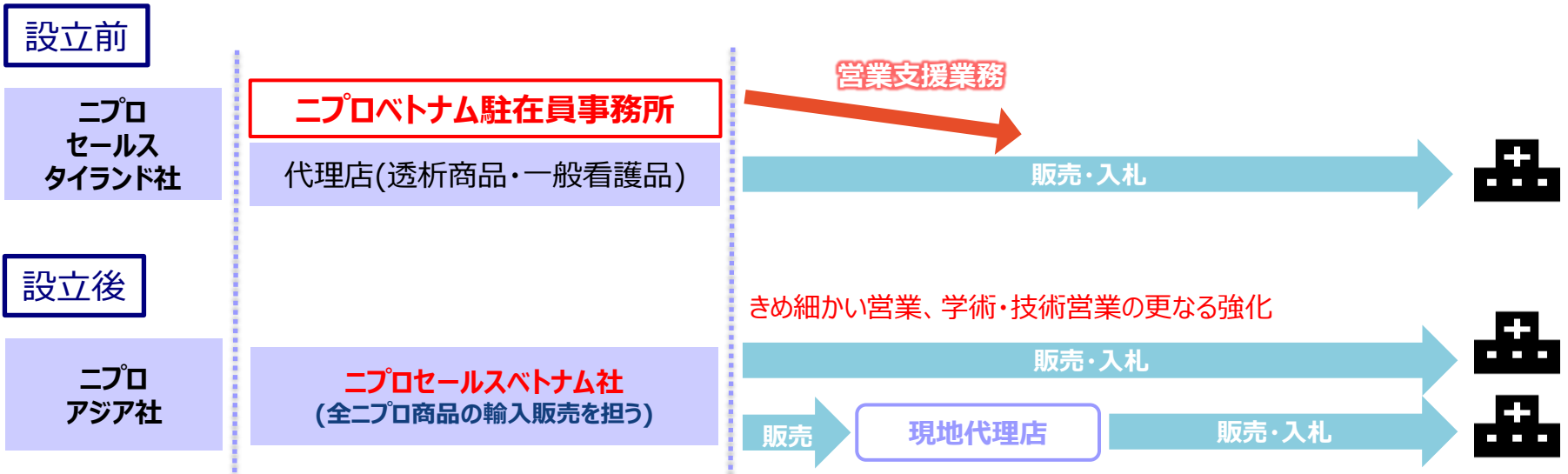


# ベトナム直販体制の構築

目的:「人口増加」と「経済成長」が見込まれるベトナムにおける直販体制の強化と地産地消の促進

目的		施策	
①	透析事業の深耕	⇒	エンドユーザーへのきめ細かい営業、学術・技術営業の更なる強化
②	透析施設の運営	⇒	現地病院との提携、消耗品・透析器械のパッケージ商売積極促進
③	販売商品の多角化	⇒	新規商品の積極導入
④	地産地消の推進	⇒	ベトナム、タイ、インドネシア工場の活用

## ニプロセールスベトナム社設立前後の商流



# ベトナムにおける医療機器事業展開



**ハノイ営業所**  
社員数：8名



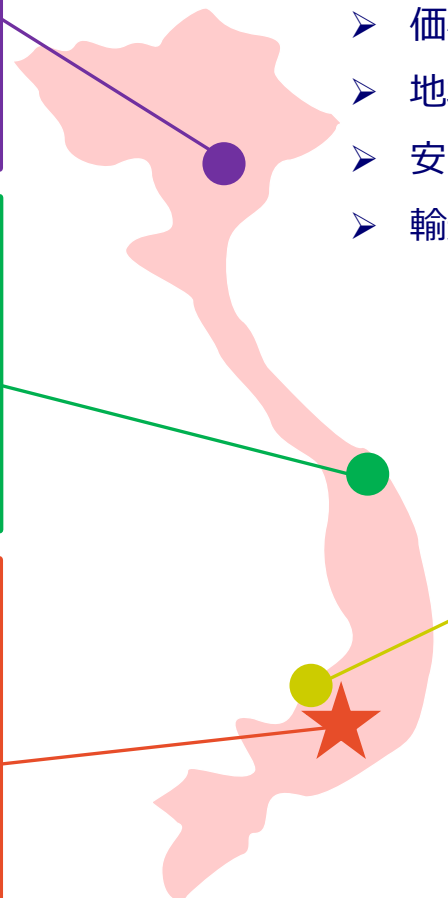
**ダナン営業所**  
社員数：4名



**ホーチミン本社**  
社員数：19名

## 地産地消の促進による競争優位の確立

- 地域顧客の囲い込み
- 価格競争力
- 地域ニーズに根差した商品の開発
- 安定供給の実現
- 輸送コストの削減 など



**ベトナム工場**

**合計31名**

# 2021年度重点戦略進捗

## 自社透析センター戦略

# 医療格差をなくす!!

「新興国において自社透析センターの開設拡大を続け、  
質の高い製品および治療環境を提供し、地域医療貢献に努めます。」



# 医療格差をなくす!! / 地域貢献



不足する透析センター



ニプロセンター



# 2021年度重点戦略

---

## ロジスティクス戦略

# ロジスティクス戦略

運賃水準は高値を維持、スペース確保も困難な状態が続くことが見込まれる

## 海運市況



定時到着率約**35%**

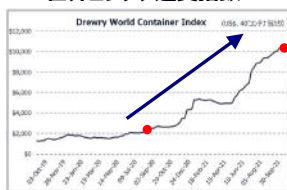
(Sea-Intelligence, GLPreport issue 118 6月データより)

**DOWN**  
安定供給

物流コスト  
**UP**

運賃高騰約**5倍**

世界コンテナ運賃指数



(英国海運調査機関データより)

## 当社の取り組み

### 安定供給

- ・長期的物流パートナーの選定
- ・グローバルネットワークの見直し
- ・国際物流の可視化
- ・BCP対策（鉄道ルート開拓、コンテナラウンド利用等）



### 費用削減（物流コスト）

- ・運送費交渉
- ・サプライチェーンネットワークの見直し
- ・新たな輸送ルートの構築（地方港、インランドデポ等積極的活用）
- ・FTA(自由貿易協定)の活用



安定供給と費用削減を継続、物流改善に取り組んで参ります。

# ロジスティクス戦略

地産地消を促進

世界19ヶ所に主要物流センターを設置（安定供給・リードタイム圧縮）

